

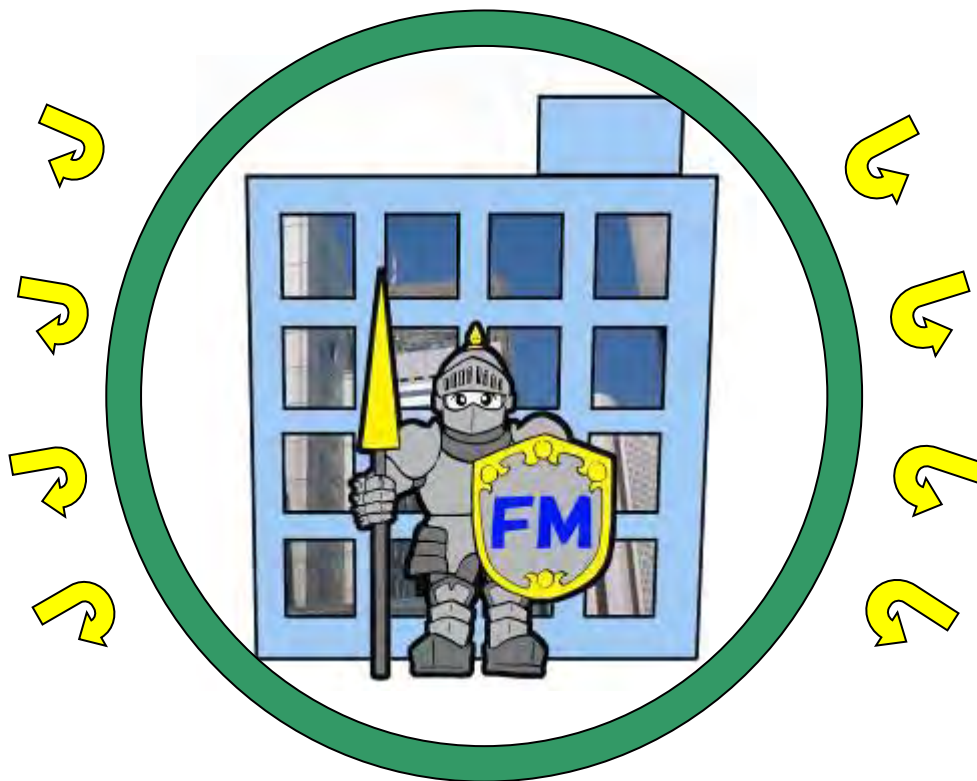


JFMA 秋の夜学校

リスクマネジメント研究部会

ファシリティとリスクマネジメント

火	災
事	故
疾	病
通	信
台	風
劣	化



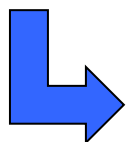
停	電
テ	口
陳	腐化
地	震
侵	入
環	境

FMは様々なリスクを防ぐ騎士

リスクマネジメントについて

リスクマネジメントプロセスの概念を明確にすることを目的としてISO化され2018年に改定された。

リスクマネジメントの国際規格
「ISO31000」



リスクマネジメントのJIS
規格「JISQ31000」

◆リスク
目的に対する不確かさの
影響

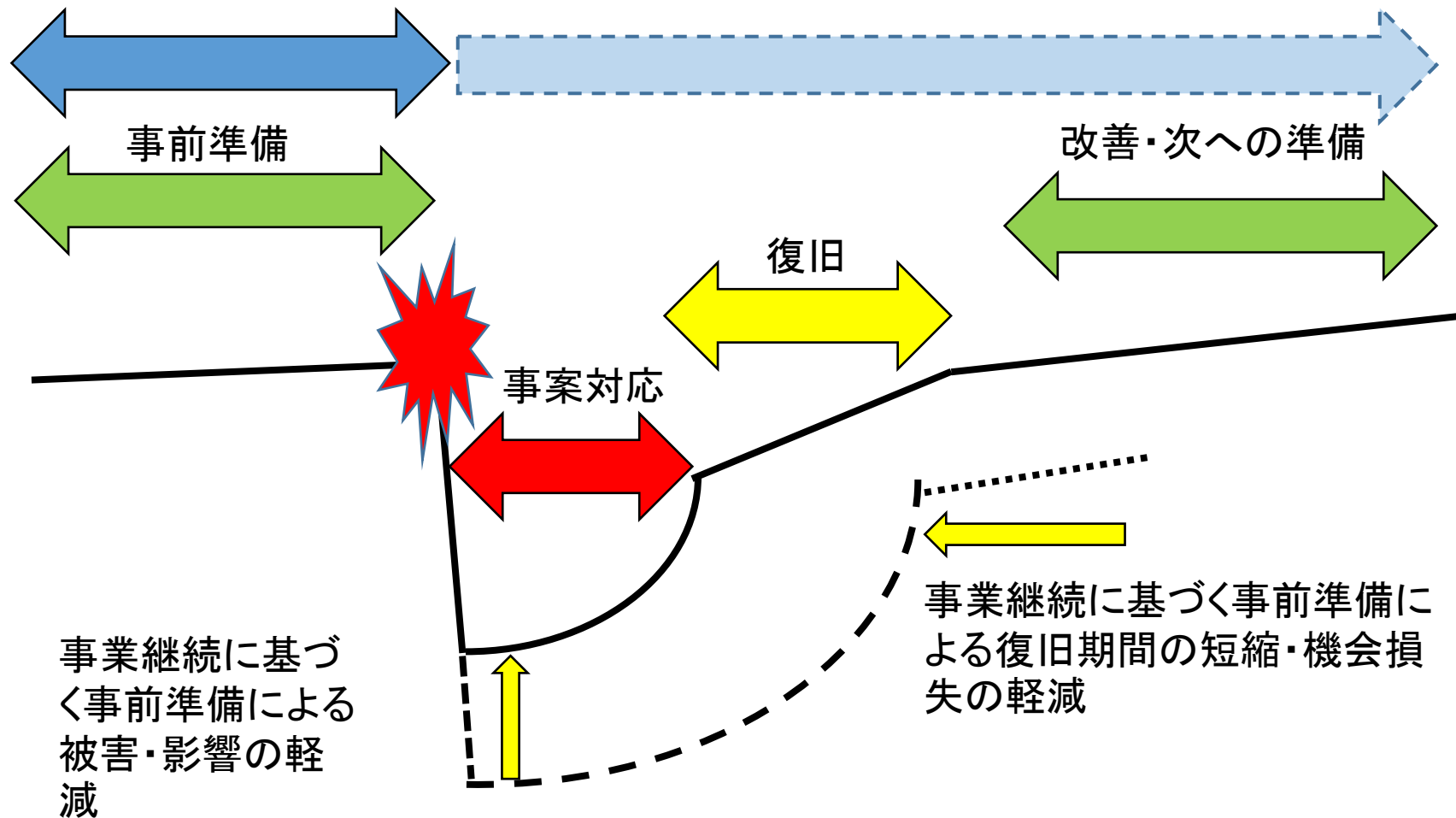
◆リスクマネジメント
リスクについて、組織を指
揮統制するための調整さ
れた活動。

リスクマネジメント

企業の価値を維持・増大していくために、企業が経営を行っていく上で障壁となるリスク及びそのリスクが及ぼす影響を正確に把握し、事前に対策を講じることで危機発生を回避するとともに、危機発生時の損失を極小化するための経営管理手法(中小企業庁)

リスクマネジメントと事業継続

リスクマネジメント (ISO31000)



「事業継続」

- 組織にとって目的達成に重大な障害が発生しても、事業を継続して組織を維持する。(災害対応だけではない)

事業継続計画 (BCP)

事業継続管理 (BCM)

事業継続管理システム (BCMS) ...ISO22301

事業継続戦略 = 経営

緊急時対応と事業継続を混同しない

大被害！！

今、まさに眼前で発生している危機的状況への対応

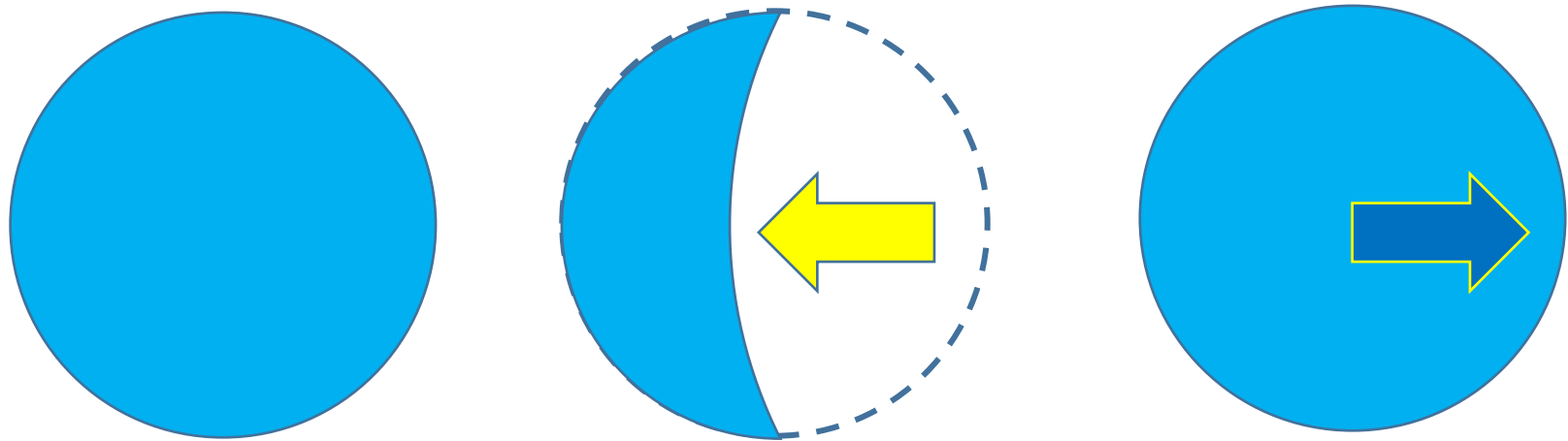
緊急時対応

発生した事象の事業への影響を最小限に止め組織を継続

事業継続

「レジリエンス」

- 組織にとって何か損害が発生しても、
他が失われた機能を補完し復元する。

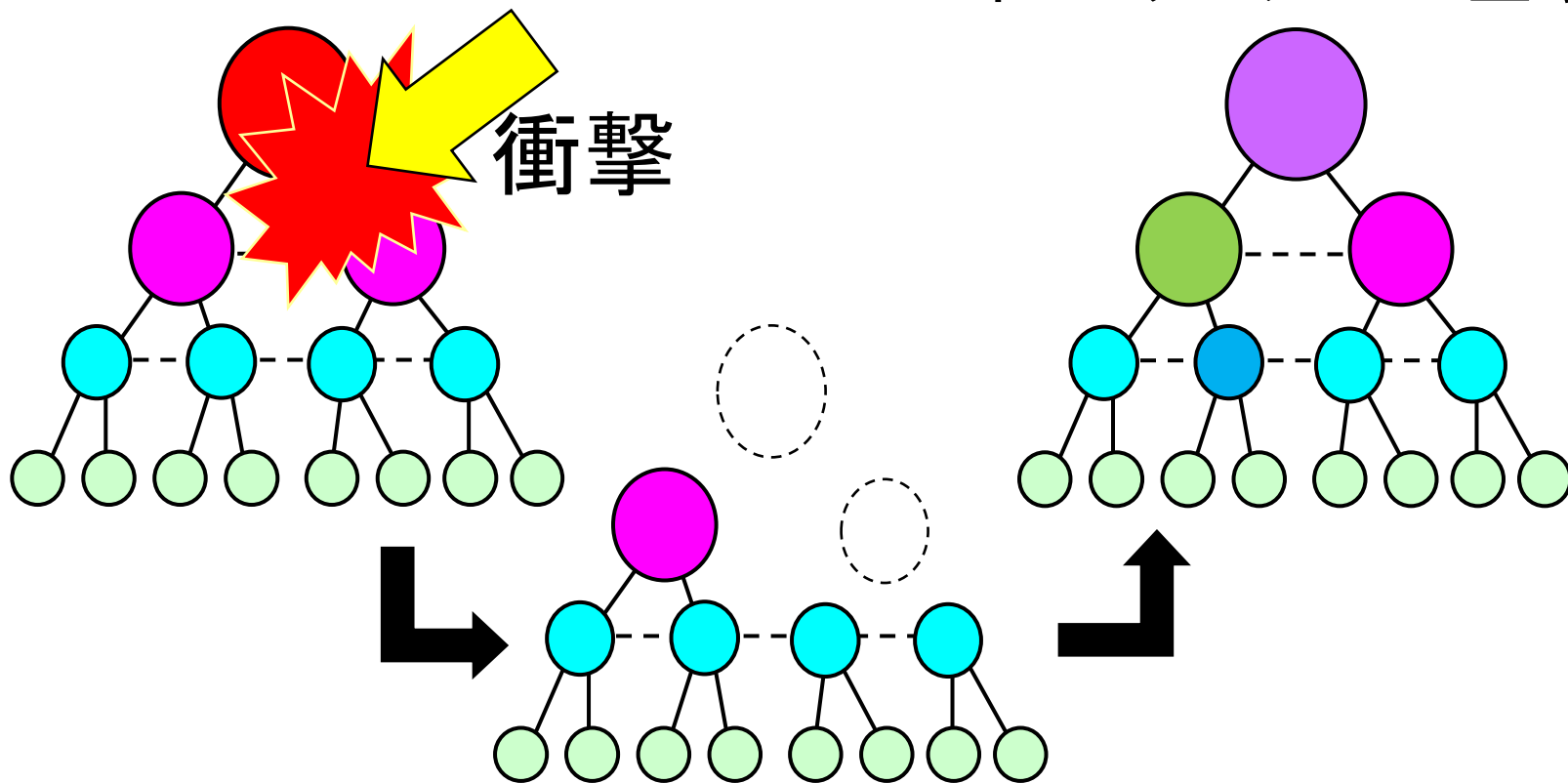


- 組織目的が明確である。
- 組織の中が自立した小組織である。
- 小組織は相互に連携・補完・増殖する。

組織における「レジリエンス」の例

■ T組織の特性

他のリーダーが登場



リーダーを失い一次組織は停滞

話題) 中小企業強靱化の取り組み

◆ 中小企業の被害例

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)・・・4,738億円

台風19-21号・・・99億円

中小企業の課題

- ・防災・減災に関心が低い
- ・ノウハウがなく人手が足りない
- ・従業員規模が小さいほど事業継続計画の策定が不十分
- ・リスクファイナンスの内容の理解が不十分(水災保障外等)

「中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法の一部を改正する法律」⇒中小企業強靱化法が施行

中小企業強靱化法

■ 「事業継続力強化計画」策定による経済産業大臣認定制度

事業継続計画では無く、一段階手前の「必要性の認識」「事前対策の実施」等を簡潔な書式で作成するものとなり取り組みやすくなっている。

- 税制上の優遇措置
- 低金利融資（日本政策金融公庫）
- ものづくり補助金の優先採択
- 自家発電機補助金 等

首都圏を脅かすハザード

キーワード

- ・首都圏直下型地震
- ・東海地震、三浦半島、房総半島等近傍地震
- ・太平洋沖の地震による津波
- ・火山噴火(富士山等)
- ・高潮、集中豪雨等の水害、暴風雨
- ・広域停電、通信障害
- ・燃料不足、物流の混乱
- ・新興感染症・・・

立地リスク・施設リスクの確認

立地によりリスクは大きく異なる

住宅密集地
火災・倒壊・ラ
イフライン

都市部
交通・ライフ
イン・通信

大型施設
長周期地震
動・EV停止



低地は浸水のリスクからは逃れられないように、立地により液状化・浸水・津波・土砂崩れ・土壌汚染等様々なリスクがある。

設備設置場所・緊急時指揮中枢機能確保・資機材備蓄保管場所

「F・DIG」(施設災害イメージトレーニングゲーム)

DIGの特性を生かしつつ、施設管理の現場単位で少人数・短時間に施設のリスクの認識と災害イメージを共有する。



建物周辺500～1000メートル程度の地図

◆用意するもの

- ・建物施設周辺の地図
- ・行政発行のハザードマップ(区等のWeb情報でも良い)
- ・付箋紙
- ・カラーマジック(5色以上)
- ・災害イメージカード

災害時の準備と避難

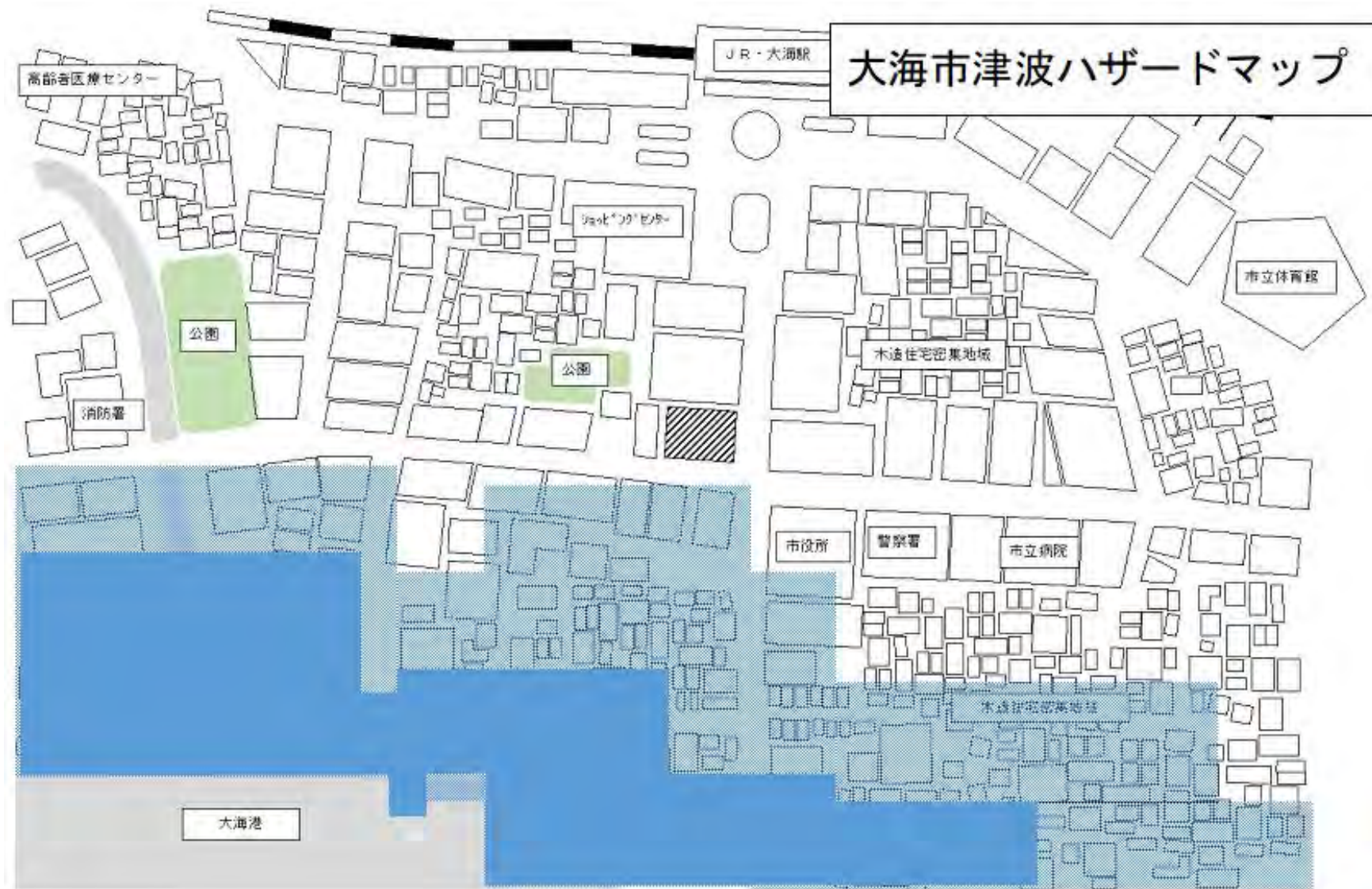
凡例	
■	浸水深0.2m以上～0.5m未満
■	浸水深0.5m以上～1.0m未満
■	浸水深1.0m以上～2.0m未満
■	浸水深2.0m以上～5.0m未満
●	避難所



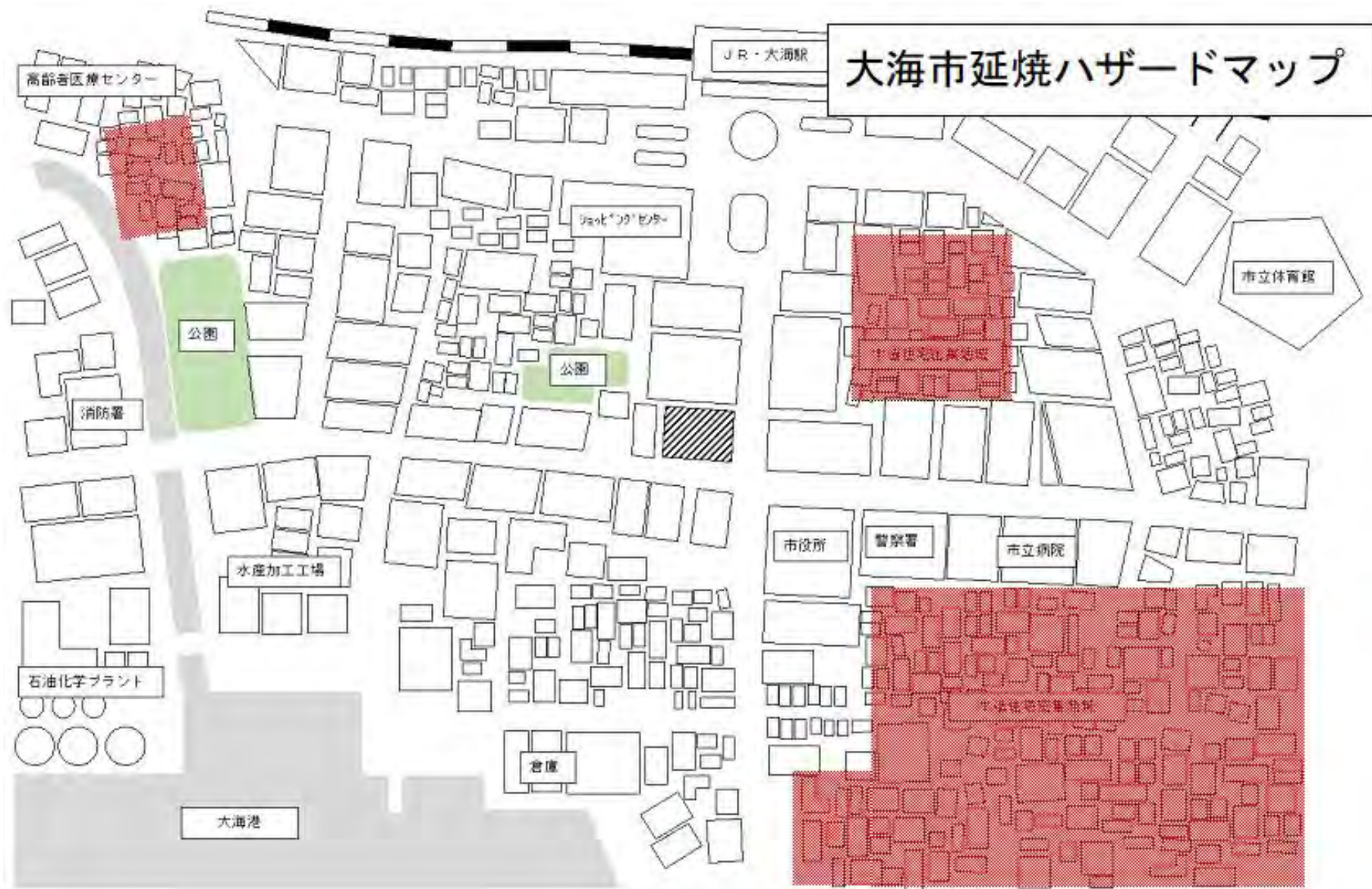
F・DIGサンプルマップ



ハザードマップ



ハザードマップ



構造・設備・運用を確認

(お手元のチェックリストもご覧ください)

確認事項の例

- 防災センターは安全な場所にありますか？
- 非常発電機の供給先は？
- 非常用コンセントの使用許可機器は？
- 災害時の配管確認方法は？
- 空調停止時の対応は？
- 廃棄物・汚物等の保管方法・保管場所は決まっていますか？

Facility・DIGを行う事で、具体的な対策検討のための施設のリスクの洗い出しと情報共有を行うことができます。

結び

リスクマネジメント研究部会は、毎月一回JFMA会議室等でリスクマネジメントに関する情報交換、事例研究等を行っています。ご興味のある方は、JFMA事務局・大野さんまでご連絡をお願いします。

項目	内容	担当者	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

